| 学校番号 | ３１５ |
|---|---|

# 令和２年度　地歴科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ｂ | 単位数 | ３単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「詳説　世界史Ｂ」　（山川出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ニューステージ世界史詳覧　（浜島書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①　原因と結果の連続としての歴史の流れを理解する。
②　歴史的事象に関心を持ち、それぞれの時代、社会に対する課題を発見する。
③　世界の国々の歴史的背景を学び、現在の日本の歴史的視野を広げていく。

2　学習の到達目標

①　歴史の流れを理解し、歴史的思考力、洞察力を養う。
②　現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ歴史的観点から様々な問題を探求し理解を深めることができる。
③　世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会、国際平和に主体的に関わっていくための自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、探求心を持って学習するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとしている。 | 世界の歴史から課題を見出し、問題の本質を正しく判断し、各地域の社会性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 世界の歴史に関する資料をニュースやインターネット等のメディアからも収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や政治、経済とも結びつけ、あわせて日本の歴史との関連についても理解し、その知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ワークシート<br>レポート | 定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>ワークシート | 定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 先史の世界とオリエントと地中海世界 | ・先史の世界<br>・古代オリエント<br>・ギリシア世界<br>・ローマ世界 | ○<br><br>○<br> | <br>○<br>○<br> | ○<br>○<br><br>○ | ○<br>○<br><br>○ | a:先史時代、古代オリエント、地中海世界について興味・関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b: 先史時代、古代オリエント、地中海世界の歴史的意味を考え、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: 先史時代、古代オリエント、地中海世界に必要な資料を幅広く収集し、整理、理解しながら読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d: 先史時代、古代オリエント、地中海世界に形成された諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身につけている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>小テスト |
| | アジア・アメリカの古代文明と内陸アジア世界・東アジア世界 | ・インドの古典文明<br>・東南アジアの諸文明<br>・中国の古典文明<br>・南北アメリカ文明<br>・内陸アジア世界<br>・東アジア文化圏の形成 | ○<br>○<br><br><br>○<br> | <br><br>○<br><br><br>○ | ○<br><br>○<br><br><br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br><br>○ | a:アジアの古代史、東アジア文化圏の形成に対する関心を高め、意欲的に追及する。<br>b: アジアの古代史、東アジア文化圏の形成て多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c: アジアの古代史、東アジア文化圏の形成に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: アジアの古代史、東アジア文化圏の形成について理解し、その知識を身につける。 | 定期考査<br>ワークシート<br>小テスト |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | イスラーム世界の形成と発展とヨーロッパ世界の形成と発展 | ・イスラーム世界の形成<br>・イスラーム世界の発展<br>・各地のイスラーム化<br>・イスラーム文明の発展<br>・西ヨーロッパ世界の形成<br>・東ヨーロッパ世界の形成<br>・西ヨーロッパ中世世界の変容<br>・西ヨーロッパの中世文化 | ○<br><br>○<br><br>○<br><br>○<br><br><br>○ | <br>○<br><br>○<br>○<br><br><br><br>○ | ○<br><br>○<br><br><br><br>○ | <br>○<br><br>○<br>○<br><br>○ | a:イスラーム世界とヨーロッパ世界の形成、発展に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b: イスラーム世界とヨーロッパ世界の形成、発展を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している<br>c: イスラーム世界とヨーロッパ世界の形成、発展に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: イスラーム世界とヨーロッパ世界の形成、発展についての基本的な事柄を１９世紀の世界と関連付けて理解し、その知識を身につける。 | 定期考査<br>ワークシート<br>小テスト |
| | 内陸アジア世界・東アジア世界の展開とアジア諸地域の繁栄 | ・トルコ化とイスラーム化の進展<br>・東アジア諸地域の自立化<br>・モンゴル大帝国<br>・東アジア世界の動向<br>・清代の中国と隣接諸地域<br>・トルコ・イラン世界の展開<br>・ムガル帝国の交流と東南アジア交易の発展 | <br>○<br><br><br><br>○<br>○ | <br><br><br>○<br><br><br>○ | ○<br>○ | ○<br><br><br>○<br><br>○ | a:モンゴルの帝国の発展と東アジアの中華帝国を中心としたアジアの繁栄に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。<br>b: モンゴルの帝国の発展と東アジアの中華帝国を中心としたアジアの繁栄について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している<br>c: モンゴルの帝国の発展と東アジアの中華帝国を中心としたアジアの繁栄に関する資料を収集し、アジア世界の理解を深めつつ、整理理解している。<br>d: モンゴルの帝国の発展と東アジアの中華帝国を中心としたアジアの繁栄についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につける。 | 定期考査<br>ワークシート<br>小テスト |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 近世から近代・現代 | ・近世・近代の欧米<br>・アジアと帝国主義<br>・二つの世界大戦<br>・現代世界 | ○<br><br>○<br> | <br>○<br><br>○ | ○<br><br>○<br> | <br>○<br>○<br>○ | a:近現代の世界史に対する関心を高め、政治的経済的背景についても意欲的に追求しようとしている。<br>b: 近現代の世界史について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、国際社会についても多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している<br>c: 近現代の世界史に関する資料を収集し、国際平和、国際社会発展について有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>d: 近現代の世界史についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につける。 | 定期考査<br>ワークシート<br>小テスト |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。